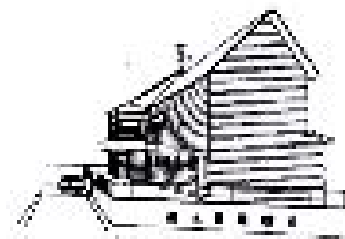


<今朝の聖書から> 聖書だけでなく、沢山の目撃者や、初代の教会の担い手たちの経験を通して、イエス様は殺され、また間違いなく復活もされました。この出来事によって、世界の教会は成立しているのです。“そうだった事にしよう”というものではありません。もしそうなら、わたしたち信仰者の生き方も、その程度のものだということになってしまいます。それでは、どんな素晴らしい“天国にまで続く道”を用意されたのでしょうか。書き出しは本当に、牧歌的とも言えるような、のどかさに満ちています。イエス様の復活に、あれほど驚き、また疑いもした弟子たちの様子はここにはありません。“今ここに主はおいでにならないというだけ、もう皆が知っている事実”だったようです。初めと同じように漁をしていましたが、彼らの心の平安は、行き先のない不安と空しさとは全く反対のようでした。イエス様が現れたことは、誰の不安にもなりませんでした。“「あなたはどなたですか」と進んで尋ねる者がなかった(21:12)”とあるとおりです。ところが、主イエスの言いだされた、質問は彼らの心を、そしてとくにペテロの心を揺さぶるものでした。三回“愛しますか？”と日本語に訳されていますが、前の二回は *ἀγαπάω* という“神の愛”を持って質問しておられますが、三回目(21:17)には *φιλέω* という言葉を用いて質問しておられます。“愛するか”の愛はなんのでしょうか。私たちにうまく分かるように“相手が必要としていて私が持っているものをプレゼントすること”でしょう。しかし、三度目に用いられた、フェロシップに当たる愛は、同僚などのことで、人が生まれつき持っている力といって差し支えないでしょう。仲間だと思っていたのに、関係がよいよ密接になった時には、骨肉の争いにもなりかねない中身のもので、ペテロは三回とも、後者の方の“友です”と答えましたし、この後も“比較を問題にされる場面”に直面してしまいます。この比較というのは実に曲者で、教会の中にもあるでしょう。主の教会に召されたはずの教職にもあるでしょう。“あちらの教会のほうがうまくいっているようだ”、“彼ほどとは言わないが、こちらの彼に比べれば待遇が悪い!”聞こえてくるようです。しかし、ここに聖霊の力があるのです。弱い人に、御霊を与え、教会を担わされた喜びが、今日まで皆を支えたのです。

週報

2010年 4月 4日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

振替口座 00890-6-214042